



## 令和8年度 学校経営方針

# 「瞳かがやき笑顔つながる中央小学校」

### 2 子どもが主体的に考え、 判断し表現する教育の推進

子どもが主役の授業づくりを核とし、自ら問いを持ち表現する力を育みます。ICT活用や対話を通じ、失敗を恐れず「やってみたい」という主体性を引き出すことで、自ら判断し学びを創り出す教育をより一層推進してまいります。

### 4 体育を中心とした運動に親しむ 機会の一層の充実と健康教育の推進

運動を楽しみ、心身の健康を保つ力を育みます。限られた環境を最大限に生かし、教職員も共に体を動かし運動に親しむ機会を創出します。専門教諭等と連携し食や保健指導を充実させ、健やかな体と温かい心を一体的に育ててまいります。

## 札幌市の教育の重点 「人間尊重の教育」

### 1 人とのつながりを大切にし、 自分や相手を大切にする心の育成を図る

自己有用感の実感を大切に、自分と相手を等しく尊重する心を育みます。異学年交流や地域との協働を深め、多様な人との関わりの中で互いのよさを認め合うことで、誰もが自分らしく輝ける姿を目指します。

## 学校経営

## の重点

### 3 特別支援教育をベースに一人一人の 教育的ニーズに応じたよさの伸長を 図るインクルーシブ教育の推進

個々のニーズに寄り添い、一人一人のよさを伸ばすインクルーシブ教育を推進します。通常級と特別支援学級の交流を深化させ、互いの個性を認め支え合う日常を創ることで、全ての児童が安心して自己を表出できる学校を目指します。

### 5 家庭・地域・校種を超えて協働的に 進める校内外を通じた活動の活性化

幼保小中の切れ目ない連携と地域との協働を軸に、豊かな学びを創出します。地域人材の活用や行事を通じ、多くの支えを「見える化」して感謝の心を育むとともに、家庭・地域と一体となり教育活動を活性化します。

# 令和8年度 中央小の教育活動

本校は、令和8年度より、文部科学省の「教育課程柔軟化サキドリ研究校事業」へ参加します。  
本事業の内容と学校経営の重点に合わせて次年度の教育活動について見直しました。

## <次年度の大きな変更点>

### 事業概要

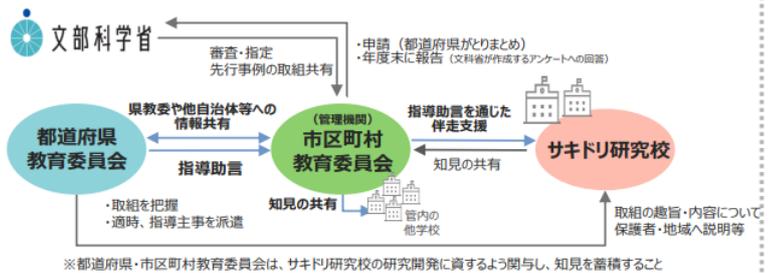
- 「調整授業時数制度」導入後の全国における円滑な制度実施に向け、研究開発学校とは別に、「調整授業時数制度」を先取りするような形で教育課程を編成・実施し、研究開発を行うことができる学校（サキドリ研究校）を文部科学大臣が指定する。

#### サキドリ研究校事業における教育課程の特例の内容

サキドリ研究校においては、先行事例を踏まえ、調整授業時数は対象教科等（※1）ごとに10%程度を上限とし、使途として以下に活用可能とする。その際、①～③にどのように活用するかについては教育委員会、学校が子供や地域の状況を踏まえて判断することとする。

- ① 既存の各教科等への上乗せ
- ② 教科の新設
- ③ 裁量的な時間 (ア) 子供の資質・能力の育成に特に資する教育活動 (※2)  
(イ) 教師の組織的な研究・研修等

- ※1 年間35単位時間以下を標準としている教科等は、対象外
- ※2 標準授業時数が設定されていない学校行事や児童会・生徒会活動は含まれない
- ※3 ①②合わせて30コマ程度まで、③ (ア)と(イ)それぞれ30コマ程度まで



(引用：文部科学省 [教育課程柔軟化サキドリ研究校事業](#) 概要より)

## 日課表

限られた学校生活の時間をより有効に活用し、子どもたちにこれからの時代に求められる力を育むため、「1コマ40分」とする新たな日課表を導入します。授業をコンパクトにすることで、子どもたちの集中力を持続させ、意欲的に課題に取り組む姿勢を引き出します。

## 教職員の「学び」

授業時間を柔軟に調整して生み出した時間を活用し、教職員が組織的に授業の研修や教材研究を深めることで、より分かりやすく楽しい授業を実現するとともに、お子様一人一人の個性や特性に合わせたきめ細かなサポートを充実させてまいります

## 「つながり」と「本物の体験」

子どもたちの「コミュニケーション能力」の向上と、五感を通じた「体験活動」の充実にか力をいれます。教科書の内容を学ぶことと同じくらい、あるいはそれ以上に、これからの時代を生きる子どもたちにとって「他者と心を通わせる力」や「実社会での実体験」は欠かせない基盤となるからです。

その他の教育活動に関してましても、次年度の教育活動がより良いものとなるよう、今年度の反省を生かして、改善を図りながら進めて参ります。

教職員一同、子どもたちの健やかな成長を支えていけるよう取り組んでまいりますので、次年度も御理解と御協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。